

令和 8 年度・令和 9 年度高規格救急自動車の購入仕様書

第 1 章 総則

第 1 入札案件

件 名：令和 8 年度・令和 9 年度高規格救急自動車の購入

数 量：4 台

履行期限：令和 9 年12月28日（火）

納車場所：奈良県宇陀市榛原萩原1230

奈良県広域消防組合 宇陀消防署及び 3 カ所
（計 4 カ所の詳細）

奈良県宇陀市榛原萩原1230

奈良県広域消防組合 宇陀消防署（1 台）

奈良県 五條市今井 4 丁目 3－23

奈良県広域消防組合 五條消防署（1 台）

奈良県吉野郡大淀町土田 187

奈良県広域消防組合 大淀消防署（1 台）

奈良県橿原市慈明寺町 149 番地の 3

奈良県広域消防組合 橿原消防署（1 台）

第 2 この仕様書は、奈良県広域消防組合（以下「当組合」という。）が令和 9 年度に納車する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）の製作に関する一切について適用する。

第 3 救急車は納車時点ですべて新規製品とし、この仕様書に定めるもののほか、救急業務実施基準(昭和39年自消甲教発第 6 号、以下「救急基準」という。)、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)及びその他関係法令にすべて適合し、緊急自動車として承認が得られるものとする。

第 4 受注者は、救急車のアフターサービス及びメンテナンスを24時間以内に初期対応できるように、納車先消防署等の行政区域内又は近隣に整備体制が確立されていること。

第 5 同等品の取扱いについては、同等品承認期限までにカタログ等を提出して当組合の承認を得ること。

第 6 受注者は、契約にあたりこの仕様書を検討し、十分熟知のうえ契約するものとし、契

約後における一切の疑義は、原則として当組合の解釈に従うものとする。なお、質疑回答事項は、この仕様書の追補とする。

第7 受注者は、救急車製作にあたりこの仕様書に疑義が生じた場合は、当組合担当者（以下「担当者」という。）に連絡のうえ、承認又は指示を受けること。

第8 受注者は、救急車製作にあたりこの仕様書から変更することが生じた場合は、担当者と打合わせのうえ、変更した製作承認図及び製作工程表を提出し当組合の承認を得ること。

第9 救急車の艤装に使用する材料は、日本産業規格（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。）又は同等品を使用し、十分な強度と精選された耐久性を持ち、耐振動性、耐水性、防塵性、耐摩耗及び耐薬品性能を有するように製作すること。

第10 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他の権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うものとする。

第11 この仕様書に記載のない事項についても、シャシ固有のもの、メーカーが公表している仕様上附属されているものに関しては、すべて取り付けること。

第12 受注者は、仕様書と製作承認図及び製作工程表に基づき、担当者立会いのうえ、次の検査を受けること。

- 1 中間検査：部品、材料及び艤装等の検査を令和9年10月29日（金）までに受けること。（当組合が適当と判断する時期に、受注者製作工場等にて実施する。）
- 2 検収検査：艤装・装備品及び積載品の総合的な検収検査を令和9年12月20日（月）までに受けること。

第13 納車に関する事項は、次のとおりとする。

- 1 救急車の納車期限は令和9年12月20日（月）までとし、納車場所は第1の納車場所とする。
- 2 救急車の納車は、新規登録後、各部清掃のうえ行うこと。
- 3 救急車の登録、検査及び緊急自動車届出の手続きは受注者が行い、これら申請に係

る経費も受注者が負担すること。ただし、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料は、当組合が支払うものとし、本契約とは別に請求すること。

- 4 一時抹消登録手続き等については受注者が行う。また、それらの手続きにかかる費用は受注者が負担する。なお、詳細については、担当者と協議すること。
- 5 救急車納車後、納車場所に勤務する職員に対して車両の構造及び機器の取扱い、保守管理等の説明を十分に行うこと。なお、これに係る経費については、受注者が負担すること。

第14 納車後に関する事項は、次のとおりとする。

- 1 受注者は、納車後1年以内に設計及び製作上の不良による故障が発生した場合は、無償修理を行うこと。（ただし、シャシメーカー保証を除く。）また、構造又は製作に関わる技術に起因する不備欠陥については、保証期間後においても、無償にて取り替え又は修理を行うこと。
- 2 納車後1年以内に受注者が指定する通常使用下において異常が発生した場合、担当者及び受注者双方にて原因調査を行い、是正措置（アライメント調整、部品交換、構造的対応等）が必要な場合は受注者がこれを行い、これに係る費用は受注者が負担すること。

第15 受注者は、契約後、次の書類を当組合に提出し承認を受けたうえで製作を開始すること。（4車両分）

- 1 製作工程表
- 2 製作承認図
 - （1）車両5面図（前後・両側・上面）
 - （2）室内配置図
 - （3）運転室レイアウト図
 - （4）電源系統図
 - （5）その他、当組合が指示する書類

第16 受注者は、納車時、次の書類を提出すること。

- 1 車両取扱説明書（4車両分）
- 2 パーツリストまたは整備要領書（4車両分）
- 3 資機材（専用装備）取扱説明書（4車両分）
- 4 改造自動車審査結果通知書等の写し（4車両分）

- 5 車検証・緊急自動車届出書・自動車保管場所証明書・リサイクル券【預託証明書】
ETC車載器セットアップ証明書（4車両分）
- 6 各種保証書（4車両分）

第2章 仕様

第17 基本仕様

救急車は、次によるものであること。

- 1 救急車の機装は、救急業務実施基準第10条第1項に定める要件に適合するものであること。
- 2 4輪駆動車であること。
- 3 車両は、全有蓋で密閉式構造のものであること。なお、運転室と患者室は隊員等が移動できる構造であること。
- 4 車内の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務の遂行に支障のない照度を有するものであること。
- 5 車両後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造であること。
- 6 傷病者を収容する部分の規格は、次のものであること。
ストレッチャーの両側の空間、ストレッチャー頭部側の座席とストレッチャーとの間の空間及び室内高は、救急業務実施基準第14条に定める資機材を用いた業務の遂行に支障のないものであること。
- 7 高度救命処置用資機材及び救急資機材等が、その機能を損なうことなく安全かつ確実に積載できる構造であること。
- 8 高度救命処置用資機材及び救急資機材等に必要な電気容量を継続して確保できるものであること。
- 9 緩衝装置は、高度救命処置用資機材及び救急資機材等を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有し、振動等に配慮した構造であること。
- 10 十分な冷暖房機能を有しエンジン始動中に自動停止しないこと。
- 11 サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和45年消防第337号）の別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するものであること。
- 12 ストレッチャーの頭部側に、座席を有するものであること。
- 13 後部バンパー及び、全乗降口において著しい摩耗が予測される箇所にはアルミ製縞板等を貼付して補強を行うこと。
- 14 全てのガラスに撥水加工を施すこと。なお、撥水効果は1年程度有するものである

こと。

- 15 各座席シートの色は、白色以外とすること。

第18 主要諸元

- 1 シャシ：令和9年度に製作したもの
- 2 寸法
 - (1)全 長：5.3m以上
 - (2)全 幅：1.8m以上
 - (3)全 高：2.4m以上
 - (4)室内高：1.8m以上
- 3 乗車人員：7名以上
- 4 エンジン：ガソリンエンジン
- 5 オルタネーター：150A以上
- 6 バッテリー：12V－120Ah以上
- 7 ヘッドライト：LEDヘッドランプとし、レベリング機能付きとする。
- 8 フォグランプ：車両純正品LEDフォグランプ
- 9 変速装置：オートマチック
- 10 ブレーキ：ABS

第19 装備関係

- 1 空調関係
 - (1)患者室に換気扇を取り付けること。また、換気扇については外付けフィルターを設け、取替えが容易にできること。
 - (2)患者室にヒーターを取り付けること。
 - (3)フロントエアコン及びオーバーヘッドリアクーラーを取り付けること。
- 2 電装関係
 - (1)電流計・電圧計及びアワーマーターを設けること。
 - (2)AC100V出力コンセント（2口×5箇所）を設けること。
 - (3)インバーター（正弦波定格300W以上）を装備すること。
 - (4)全自動電子バッテリー管理装置を装備すること。

リアバンパーに外部入力用AC100Vマグネット式コンセントを取り付け、マグネット式コンセント用ケーブルを附属させること。また、AC100V電源自動切換改造を行いAC100V出力コンセントの出力をエンジン始動中はインバーター電

- 源、エンジン停止時には外部入力AC100V電源に自動的に切換が行われること。
- (5) エンジンスターターカット機能を装備し、外部電源使用時にエンジンが始動しないようにすること。
 - (6) 盗難防止装置を装備（誤発進防止装置シフトロック機構でも代替可能。）すること。
 - (7) 積載機器用のヒューズボックスを設け、各機器の名称を表示し、容易に交換等が出来る箇所に設けること。
 - (8) 電気式ドアロック（アンサーバック機能付）を装備すること。また、リモコン付きキー4個を附属させること。
 - (9) オートクローザー又はイージークローザーシステムを装備すること。サイドスライド及びバックドアに設けるものとし、サイドスライドドアには全開ストッパーを備えること。
 - (10) キー抜き忘れ警報装置を装備すること。
 - (11) 自動（被害軽減）ブレーキを装備すること。
 - (12) 緊急車両存在通知機能を装備すること。

第20 外部艤装

車両ボディは、標準仕様の材質とするが、屋根を含む各機器の取り付け部の補強とアンテナ配線等の貫通部は、防水措置や室内の防音対策を講じること。

1 車両前面

(1) 消防章

車両前面の中央に取り付けること。（直径150mm、樹脂製メッキ仕上げ、台座付）

(2) 赤色警光灯

ア ルーフ前部及び後部の両側にLED大型散光式赤色警光灯を取り付け、ゴムパッキン等で確実な防水処理をすること。また操作部は運転席付近に設置すること。

イ フロント赤色点滅灯をフロントバンパー本体のヘッドライト内側左右に2個取り付け、LED大型散光式赤色警光灯と連動させて点滅させること。また、その周囲をゴムパッキン等で雨水が浸入しないように確実に処理すること。

ウ LED大型散光式赤色警光灯にあつては、音声合成音及びウーウー音に連動して発光パターンが自動で切り替わること。また、パーキングブレーキとも連動して自動的に減光し、周囲に配慮する設定とすること。

エ 警光灯は最新型のものとし、他社同等品がある場合は担当者と協議すること。

(3) フロントアンダーミラー

前部左側に運転席から視認しやすい位置に取り付けること。

2 車両側面

(1) 助手席アウトサイドミラー

フロント左側ドアに助手席から後方確認ができるよう補助ミラーを取り付けること。

(2) サイドバイザー

運転席及び助手席ドア上部にサイドバイザーを取り付けること。

(3) バッテリー収納ボックス

バッテリーを容易に取り出せる構造とし、メンテナンス性を考慮したものであること。

(4) 路肩灯（メインスイッチ付）

左右後輪付近に路肩灯（LED式）を取り付け、スモールランプと連動させ、運転席付近にメインスイッチを設置すること。

(5) マッドガード

左右前後輪の後方側に取り付けること。

(6) サイドミラー

リモコン電動格納式ミラーとする。

(7) フロントドアステッププロテクター

乗降時の滑り防止のため、アルミ製プロテクターを取り付けること。

なお、フロントステップに滑り止めテープ加工を施すこと。

(8) 左サイドスライドドアステッププロテクター

乗降時の滑り防止のため、アルミ製プロテクターを取り付けること。

なお、左サイドスライドドアステップに滑り止めテープ加工を施すこと。

(9) サイドフラッシャーランプ

ルーフサイド左右にサイドフラッシャーランプを設けること。また、ウインカーと連動して点滅させること。（ドアミラー内蔵型となることも可とする。）

(10) 作業灯

ルーフサイド左右に作業灯（補助警光灯付）各2灯、計4灯設けること。また、パーキングブレーキ又はトランスミッションのPレンジに連動して停車時のみ点灯可能とし、メインスイッチを中央パネル付近に取り付けること。（補助警光灯は作業灯と分離型も可能とする）

なお、最新型のものとし、他社同等品がある場合は担当者と協議すること。

3 車両後面

(1) 停止表示灯

バックドア下面左右にLED式停止表示灯を設け、LED大型散光式赤色警光灯の点灯時及びバックドア開放時に点灯すること。

(2) バックアイカメラ

車両後部の有効な位置に設けること。

(3) リアバンパープロテクター

乗降時の滑り防止のため、アルミ製プロテクターを取り付けること。

なお、リアステップに滑り止めテープ加工を施すこと。

(4) 音声合成式バックアラーム

リアバンパー内側に設けること。また、トランスミッションのRレンジに連動して音声流れること。なお、バックアラーム停止ボタンを取り付けること。

(5) バックドア開放時は、雨水が車内に流れ込まない構造とすること。

4 屋根面

換気排気口

外部からの影響のない構造の換気用排気口を設けること。

5 その他

(1) 車両に使用するすべての部品は、錆びない材質又は錆びないようにコーティングしたものを使用すること。

(2) 接続部、貫通部、隙間等はパテにより仕上げ処理すること。

(3) 補修塗装用塗料を附属すること。

(4) 車両ドア部に使用されるビス類は、可能な限り鉄又はアルミ等の強度を保つものにする。こと。(プラスチック製ビスは、経年劣化によりヒビ割れ等が発生し脱落しやすいため。)

(5) コーナーセンサーを、車両前方左右を含む2箇所以上に取り付けること。

(6) 救助資機材用バッグ

レスキューツール5点を収納できるバッグを積載すること。

第21 内部艤装

1 運転室内

(1) ルームランプ

室内灯及び、助手席側のフロントピラーに手元スイッチ付LEDフレキシブルマップランプを取り付けること。

(2) 助手席インナーミラー

助手席から後方確認できるようルームミラーを取り付けること。

(3) カーナビゲーションシステム

音声ガイダンス機能付きで、7インチ以上のワイドモニターを備えたナビゲーションを中央パネルに取り付けること。地図情報は最新のものであること。ポータブルナビゲーションは不可とし、バックアイカメラによるバックガイドシステムを併用可能とする。また、テレビ機能については、視聴できないよう措置をとること。

なお、機種は最新型のものとし、詳細については担当者と協議すること。

(4) 車両周囲画像システム

車両周囲を俯瞰して見ることができる全方位（前後左右）モニターを視認しやすい位置に取り付けること。なお、確認モニターの機種（カーナビゲーション一体型または単独型等）及び取り付け位置等の詳細については担当者と協議すること。

(5) ドライブレコーダー

ドライブレコーダー本体（前後録画可能）、附属品等及び配線を設け、カメラはフロントガラス中央上方に設け、初期設定を行うこと。機種については最新型で常時録画と自動イベント録画機能を有し、記録媒体はmicroSDカードとし、Windows Media Playerにて再生可能なファイル形式であること。

なお、Windows Media Playerにて再生できない場合は、再生可能なソフトウェアを指定するパソコンにインストールすること。

(6) 後方確認システム

走行中、運転室から車外カメラで常時後方を確認できる機能を設けること。なお、確認モニターの機種（ルームミラー一体型または単独型等）及び取り付け位置等の詳細については担当者と協議すること。

(7) 電子サイレン

ア 電子サイレンアンプ

電子サイレンアンプはマイク付とし、50W以上の出力があり、サイレン、LED大型散光式赤色警光灯及び内蔵した音声合成装置がワンタッチで連動出来るものであること。

ピーパーサイレンからウーウー音に切替えることのできるプッシュスイッチを、運転席の操作しやすい位置に取り付けること。また、ウーウー音に切替えた場合でもピーパーサイレンが継続して吹鳴できること。

ハーモニックサウンドまたはコンフォートモード機能を有し、アンプ内のボタンで切替え操作ができること。

なお、最新型のものとし、他社同等品がある場合は担当者と協議すること。

イ 音声合成装置

音声メッセージの内容は次のとおりとすること。

- (ア) 左に曲がります。ご注意ください。（ウインカーと連動、キャンセルスイッチ式）
- (イ) 右に曲がります。ご注意ください。（ウインカーと連動、キャンセルスイッチ式）
- (ウ) 交差点に進入します。注意してください。
- (エ) 救急車が通ります。道をあけてください。
- (オ) 協力感謝メッセージ

上記(ウ)・(エ)・(オ)のモーメンタリ式プッシュスイッチを、それぞれ単独で中央パネル及び運転席から操作しやすい場所に取り付けること。

ウ ハンドマイク及びフレキシブルマイク

サイレン音減衰同時放送ができるものとする。また、運転席右側にフレキシブルマイクを取り付け、運転席から操作しやすい場所にスイッチを設けること。

(8)書類ボックス

運転席後部又は運転席と助手席との間に、A3サイズの住宅地図、書類等が収納できるボックスを取り付けること。

(9)収納袋

運転室内天井左右にレザー収納袋または網棚を取り付けること。

(10)フロアマット

運転席部及び助手席部にフロアマットを敷くこと。

(11)ETC

ETC車載器はビルトインタイプ（セットアップ含む）とする。なお、機種については最新型のものとし、取り付け位置等を含め担当者と協議すること。

2 患者室内

(1)患者室の窓ガラス

患者室の窓ガラスは、左側面及びバックドア全面をプライバシー保護のため、曇りガラス及びフィルムを貼付すること。また、左側面及びバックドア全面にカーテンを取り付けること。ただし、バックドアのカーテンは電動式とし、運転席に専用スイッチを設けること。また、患者室右側面に窓ガラスがある場合は窓ガラス全面をフィルム貼付とすること。

なお、詳細については、担当者と協議すること。

(2)患者室床面

患者室床面は水洗いできる構造とすること。

(3)ルーフネット

患者室天井に2箇所、ルーフネットを取り付けること。

(4)書類ボックス

A3サイズの住宅地図、書類等が収納できるボックスを取り付けること。

なお、患者室の構造等により有効な位置に取り付けることが困難な場合については、担当者と協議すること。

(5)ティッシュ／グローブボックス（2連）

患者室にティッシュ／グローブボックス（2連）を2箇所取り付けること。

(6)酸素呼吸器

酸素呼吸器セット一式を積載すること。

(7)酸素マスク収納庫

酸素マスク収納庫を取り付けること。なお、アクリル扉付の収納庫でチューブが通る切り抜きがあること。

(8)酸素ボンベ収納庫

酸素ボンベ2本（10L）を収納できる固定収納庫を設けること。また、減圧弁ヨーク型を設け、三方チーズより高圧ホースで酸素呼吸器の加湿流量計まで配管すること。

※酸素ボンベ本体は含まない。

(9)患者室右側収納庫

ア 引出し収納庫を2箇所以上取り付けること。なお、各引出し内には収納物を保護するための緩衝材を敷くこと。

イ アクリル製扉付ルーフサイド収納庫を2箇所程度取り付けること。

ウ 3段程度の収納棚を取り付けること。

エ 当組合で使用しているタブレット専用のタブレットホルダーを設置すること。

なお、上記ウの収納棚上段に設置することも可能とし、設置方法等については担当者と協議すること。

オ スライド式扉タイプの収納庫及びネットシェルフ等を設けること。

カ 収納庫及びネットシェルフ等の取り付け数及び取り付け位置については、担当者と協議すること。

キ 救急資機材が有効に作動するための配線及び配管を設けること。

(10)患者室左側収納庫

ルーフサイド左前に2扉付ルーフサイド収納庫（アクリル扉と施錠付き不透明扉）を、左後に2扉付ルーフサイド収納庫（アクリル扉）を取り付けること。ただし、オーバーヘッドコンソールを設ける場合は、ルーフサイド左前の収納庫をアクリルスライド式扉とし、ルーフサイド左後の2扉付収納庫をアクリル扉と施錠付き不透明扉とすること。なお、オーバーヘッドコンソール開放時に収納庫扉と干渉しないように設置すること。

(11) 大型収納庫（運転席後部縦型収納庫）

患者室に大型収納庫（運転席後部縦型収納庫）を設け、資機材が容易に収納できるよう設置すること。なお、大型収納庫（運転席後部縦型収納庫）内部に棚板を取り付け、2段棚とすることとし、大型収納庫（運転席後部縦型収納庫）内部に資機材飛び出し防止用ネット又は資機材固定ベルト等を取り付けること。

大型収納庫（運転席後部縦型収納庫）の扉は運転室と患者室を隔壁（感染防止用間仕切り）できる構造とし、上部に透明窓を設置すること。なお、感染防止を目的とし他の手段で運転室と患者室を間仕切れる場合は、担当者と協議すること。

(12) 手洗い装置がある場合は収納庫に改造し、付近にポンプ式速乾性手指消毒薬の収納庫を取り付けること。なお、取り付け位置は担当者と協議すること。

(13) 患者室シート

後向き1人掛シート、前向き1人掛ハイバックシート、横向き3人掛シート（可能な場合は2人掛シートとする。）を取り付けること。なお、横向き3人掛けシートの下部は収納庫とし、全席に人数分のシートベルトを取り付けること。また、前向き1人掛けハイバックシートと横向き3人掛けシートの間の隙間を少なくすること。

(14) ストレッチャー積載架台（防振架台）

ア メインストレッチャーを積載すること。なお、左右サイドアームはプレート付きとし、ガードル架キット一式を装備すること。

イ 左右へのスライド操作が可能であること。

ウ 振動を十分に吸収し、動力源として電源を用いない構造であること。

エ 心肺蘇生法実施時に防振機能を停止固定できること。また、左右へのずれ落ち防止ガイド及びストレッチャー落下防止装置を取り付けること。なお、取り付けに関しては担当者と協議すること。

オ ストレッチャーの頭部側に、容易に取り外し可能なヘッドパットを設けること。

(15) サブストレッチャー収納庫及びバックボード収納庫

サブストレッチャー一式及びバックボード一式を積載すること。また、サブストレッチャー及びバックボードを患者室右側下部に固定収納することとし、収納方法（方向）を明示すること。

なお、固定収納の構造にあつては担当者と協議すること。

(16) 搬送用資機材（簡易担架）

搬送用資機材（簡易担架）を積載すること。

(17) 輸液ボトルホルダー（2本用）

右ルーフサイド、又は天井に輸液ボトルホルダー（2本用）を取り付けること。

(18) フック

ア 患者室右壁面にC型バネフックを4個以上取り付けること。

イ 運転席、助手席後部にJ型フックを各2個以上取り付けること。

なお、取り付け位置と数量については担当者と協議すること。

(19) アシストグリップ

患者室右側に滑り止め加工を施したアシストグリップを2箇所、天井に患者室をカバーできる長さのものを1箇所、左スライドドア及びバックドアに各1箇所取り付けること。ただし、バックドアのアシストグリップを大型とすること。また、患者室右側のアシストグリップにマジックベルト5本以上を取り付けることとし、取り付け位置については担当者と協議すること。

(20) ダストボックス

ダストボックスを設けること。

(21) ホワイトボード

ホワイトボード（A3）を取り付けること。ホワイトボードはマグネット対応とし、黒ペン、ラーフル、ペン立て付とすること。

なお、取り付け位置またはA3サイズの設置が困難な場合については担当者と協議すること。

(22) 人工呼吸器

人工呼吸器一式を積載すること。

(23) 患者監視装置（12誘導解析機能付心電計）固定装置

患者監視装置（12誘導解析機能付心電計）を積載すること。また、機種については最新型のものとし、患者監視装置（12誘導解析機能付心電計）用の固定装置を取り付けること。なお、固定位置については、担当者と協議すること。

(24) 自動式心臓マッサージ器の固定

自動式心臓マッサージ器一式を積載すること。なお、機種については最新型のもの

のとし、担当者と協議すること。

自動式心臓マッサージ器の積載位置については担当者と協議し、艀装が必要な場合は必要な策を講じること。

(25)呼吸循環管理用資機材

携帯式酸素吸入器一式、手動式人工呼吸器一式を積載すること。

(26)大型アネロイド血圧計固定装置

タイコス大型アネロイド血圧計を積載すること。

タイコス大型アネロイド血圧計の固定装置を取り付けること。

(27)その他観察用資機材等

血圧計、検眼ライト、電子体温計、投射型非接触式体温計、聴診器、エスマルヒ氏止血帯、RMT止血帯ブラウン、血糖測定器を積載すること。

(28)吸引器

吸引器一式を積載すること。なお、吸引器の脱着が容易で、固定したまま充電が自動に行えるようウォールマウントブラケットで固定すること。また、吸引カテテル保持パイプを取り付けること。

(29)その他気道確保用資機材

喉頭鏡セット一式、マギール鉗子一式、ビデオ喉頭鏡一式、経鼻エアウェイ、経口エアウェイ（大小各2個）及びハイステル開口器を積載すること。

(30)ETCO₂測定器及び血中酸素飽和度測定器

ETCO₂測定器及び血中酸素飽和度測定器を積載すること。

(31)自動体外式除細動器固定装置

自動体外式除細動器を積載すること。また、自動体外式除細動器固定装置を取り付けること。なお、固定装置位置については、担当者と協議すること。

(32)懐中電灯

懐中電灯を積載すること。

(33)救急バッグ

救急バッグを積載すること。

(34)膿(のう)盆

ステンレス製の膿(のう)盆を積載すること。

(35)尿器

こぼれ防止機能付き尿器を積載すること。

(36)万能はさみ

セイフティカッターを積載すること。

(37) 分娩セット

お産セットを積載すること。

(38) リングカッター

リングカッター（替刃 2 枚）を積載すること。

(39) 防刃チョッキ

防刃チョッキを積載すること。

(40) 大型蛍光灯・患者灯

天井部に大型蛍光灯及び患者灯を取り付けること。

(41) 固定式 LED ライト（バックドア内側取り付け）

車両バックドア（内部側）に固定され、車両バックドアを閉めれば患者に対して照射でき、バックドア開放時には車両後部を照射できること。

(42) 車両除染システム

車両除染システムを設置すること。

(43) 時計・室温度計（デジタル電波時計）

時計、室温度計（デジタル電波時計）を取り付けること。

(44) 消火器

患者室に自動車用粉末 ABC 消火器（消火薬剤 1.8 k g 以上）を取り付けること。

(45) 車輪止め

ゴム製車輪止めを附属すること。

(46) 警告表示板

警告表示板を積載すること。

(47) 自動車標準工具

自動車標準工具を積載すること。

(48) 牽引ロープ

牽引ロープ（3 t 用フック付）を積載すること。

(49) スタッドレスタイヤ

スタッドレスタイヤ（ホイール付き）を附属すること。

(50) タイヤチェーン

スタッドレスタイヤのサイズに合わせ、ゴム製の滑り止めネットとすること。なお、容易に着脱できるものとする。

(51) 救命浮輪

救命浮輪を積載すること。

(52) ブースターケーブル

ブースターケーブル(120A・5m)を積載すること。

(53) I Cレコーダー

I Cレコーダーを積載すること。

なお、最新型の推奨品がある場合は担当者と協議すること。

(54) デジタルカメラ

デジタルカメラを積載すること。

なお、最新型の推奨品がある場合は担当者と協議すること。

(55) 救急現場用シールド

救急現場用シールドを積載すること。

(56) メッシュベスト

メッシュベストを積載すること。

なお、背中と胸の反射プリントの詳細については、担当者と協議すること。

(57) バックドアストラップ

バックドアストラップを取り付けること。

第22 別表について

救急車取り付け品及び救急車に積載する高度救命処置用資機材、救急資機材、装備品については、別表1～5を参考にすること。なお、各品の取り付け位置、配列及び仕様書に掲げるものより最新型の推奨品等がある場合は担当者と協議すること。

第23 車載無線装置

- 1 車載無線装置は、既存車両から取外し、本事業で発注する新規車両に設置するものとする。なお、車内スピーカー及びハンドセットについては、運転室及び後部室に各1台設置するものとし、受注者が別途調達し新規に設置すること。車内スピーカーはP810型とする。

また、デジタル用2基及びアナログ用1基のアンテナは新規設置とする。その際、デジタル用アンテナは1/2λエレメントを使用すること。アナログ用アンテナは1/4λエレメントで可。

- 2 当該機器の移設工事は、発注者が消防救急デジタル無線システム保守点検業務及び消防指令システム保守点検業務契約を締結しているNECネットエスアイ株式会社（以下「NEC」という。）が施工するものとする。
- 3 以下の配線工事は、上記2同様、NECが施工するものとする。ただし、艀装に係る部分の内部等に配線工事が必要な場合は、受注者とNECが十分協議のうえ、いず

れかが施工するものとする。

(1) アンテナ同軸ケーブル

無線機本体から空中線共用器、及び空中線共用器からアンテナまで。

(2) マイクケーブル (ハンドセットの設置数により対応するケーブルを増設)

前部分配器から後部ハンドセットまで。

(3) 車内スピーカーから無線機本体までのケーブル。(必要に応じて分配器)

(4) +B 電源, GND ケーブル

車載無線装置本体から車両バッテリーまで。

端子台を設ける場合は車両バッテリーから直接端子台まで配線すること。

(5) ACC 電源

車載無線装置本体から端子台まで。

(6) デジタル用空中線共用器

(7) その他必要な配線

4 上記 1 から 3 に係る費用は、受注者が負担すること。

5 移設工事に際し、既存車両から取り外し困難な部品、または取替えの必要な材料、消耗品及び保護材については別途調達し、その費用についても受注者が負担すること。

6 当該機器の取付け時期及び施工方法は、3 者（発注者、受注者、NEC）にて十分協議し施工すること。なお、納車後履行期限までに移設工事を行うこととし、詳細にあつては担当者と協議すること。

7 各機器の詳細な取付け位置は、発注者が契約後、指示する。

第24 車両運用端末装置

1 車両運用端末装置（Ⅲ型車載端末装置）は、既存車両から取り外し、本事業で発注する新規車両に設置するものとする。

2 当該機器の移設工事は、消防救急デジタル無線システム保守点検業務及び消防指令システム保守点検業務契約を締結している NEC が施工するものとする。

3 以下の配線工事は、上記 2 同様、NEC が施工するものとする。ただし、艤装に係る部分の内部等に配線工事が必要な場合は、受注者と NEC が十分協議のうえ、いずれかが施工するものとする。

(1) ACC 電源、IGN 電源、リバース、車速パルス

車両運用端末装置本体から端子台まで。

(2) +B 電源、GND

車両運用端末装置本体から車両バッテリーまで。

端子台を設ける場合は車両バッテリーから直接端子台まで配線すること。

(3)GPSアンテナケーブル

GPSアンテナは車内設置とする。

(4)その他必要な配線

4 上記1から3に係る費用は、受注者が負担すること。

5 移設工事に際し、既存車両から取り外し困難な部品、または取替えの必要な材料、消耗品及び保護材については別途調達し、その費用についても受注者が負担すること。

6 当該機器の取付け時期及び施工方法は、3者（発注者、受注者、NEC）にて十分協議し施工すること。なお、納車後履行期限までに移設工事を行うこととし、詳細にあつては担当者と協議すること。

7 各機器の詳細な取付け位置は、発注者が契約後、指示する。

第25 車両外部記入文字等

1 車両前面は赤色ラインを貼付し上部に再帰性に富んだ白色反射材を貼付すること。
また、左右側面及び後面に再帰性に富んだ朱色反射材を貼付すること。

2 記入文字は、次のとおりとする。ただし、文字等の大きさ、詳細な位置については別途協議する。

(1)車両前面

助手席側に、各救急車の無線呼出識別信号を漢字及び数字で記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：80mm×80mm程度

例：「宇陀901」

(2)運転席・助手席ドア

両ドアの前方下部に、各救急車の無線呼出識別信号を漢字及び数字で記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：80mm×80mm程度

例：「宇陀901」

(3) 車両後面

運転席側後部に、各救急車の無線呼出識別信号を漢字及び数字で記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：80mm×80mm程度

例：「宇陀901」

(4) 車両両側面

「奈良県広域消防組合」と記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：150mm×150mm程度

(5) バックドア

ア バックドアの窓下部、朱色ライン上部、又は下部に「奈良県広域消防組合」と記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：100mm×100mm程度

イ バックドアの窓上部に「スターオブライフ」のシンボルマークを貼付（耐候性ステッカー）すること。

大きさ：250mm×250mm程度

(6) 車両屋根部（左右窓上部ルーフサイド）

左右窓上部のルーフサイドに設けられた後部作業灯付近に「例：宇陀消防署」と消防署名を漢字で記入すること。

書体：丸ゴシック体

書き方：左書き

文字色：青色反射材

大きさ：スペースを有効に利用した文字サイズとすること。

- 3 当組合指定のイラストを貼付すること。なお、貼付するイラストは3枚とし、大きさ及び詳細な位置については別途協議する。

第26 自動車登録番号について

自動車登録番号は、希望登録番号とし、詳細について別途担当者と協議すること。

第27 業務完了について

納車、車載無線装置、車両運用端末装置の移設工事完了後、発注者の検収に合格することをもって本業務の完了とする。

第28 入札及び落札後の請求について

- 1 入札は4台分の合計額での応札とする。
- 2 納車後の請求については、全4台分の合算額を提示し請求すること。
- 3 請求先については、消防本部とする。

第29 支払いについて

支払いについては、検収終了後、請求先（別表6）の消防本部が適法な請求書を、受理した日から30日以内に受注者が指定する銀行口座へ振り込むものとする。

区分	仕様・規格	数量	備考
車 両 本 体	車両本体	1式	3
	換気扇取付(外付フィルター付)	1式	19-1-(1)
	ヒーター取付	1式	19-1-(2)
	フロントエアコン・オーバーヘッドリアクーラー	1式	19-1-(3)
	積載機器用ヒューズボックス	1式	19-2-(7)
	電気式ドアロック(アンサーバック機能付)	1式	19-2-(8)
	オートクローザー又はイーザークローザーシステム	1式	19-2-(9)
	キー抜き忘れ警報装置	1式	19-2-(10)
	自動(被害軽減)ブレーキ	1式	19-2-(11)
	緊急車両存在通知機能	1式	19-2-(12)
	フロントアンダーミラー	1式	20-1-(3)
	バッテリー収納ボックス	1式	20-2-(3)
	マッドガード	1式	20-2-(5)
	停止表示灯(LED式停止表示灯)	1式	20-3-(1)
	換気排気口	1式	20-4
	車両周囲画像システム	1式	21-1-(4)
	後方確認システム	1式	21-1-(6)
	後ろ向き1人掛シート	1式	21-2-(13)
	前向き1人掛ハイバックシート	1式	21-2-(13)
	横向き3人掛シート(不能の場合2人掛シート)及び下部は収納庫	1式	21-2-(13)
	大型蛍光灯・患者灯	1式	21-2-(40)
	固定式LEDライト(バックドア内側取付)	1式	21-2-(41)
	自動車標準工具	1式	21-2-(47)
車 両 ・ 機 装	電流計・電圧計	1式	19-2-(1)
	アウメーター	1式	19-2-(1)
	AC100V出力コンセント(2口)	5式	19-2-(2)
	インバーター(正弦波300W以上)	1式	19-2-(3)
	全自動電子バッテリー管理装置	1式	19-2-(4)
	助手席アウトサイドミラー	1式	20-2-(1)
	サイドバイザー	1式	20-2-(2)
	路肩灯(メインスイッチ付)	1式	20-2-(4)
	サイドミラー	1式	20-2-(6)
	フロントドアステッププロテクター	1式	20-2-(7)
	左サイドスライドドアステッププロテクター	1式	20-2-(8)
	サイドフラッシャーランプ	1式	20-2-(9)
	作業灯(大阪サイレン製LIA-200LED作業灯)左右各2灯 計4灯 ※補助警光灯付	1式	20-2-(10)
	リアバンパープロテクター(アルミ縞板製)	1式	20-3-(3)
	音声合成式バックアラーム	1式	20-3-(4)
	ルームランプ(LEDフレキシブルマップランプ)	1式	21-1-(1)
	助手席インナーミラー	1式	21-1-(2)
	書類ボックス(A3サイズ、運転席後部又は運転席と助手席の間)	1式	21-1-(8)
	収納袋(運転室内天井)	1式	21-1-(9)
	曇りガラス(左側面)	2式	21-2-(1)
	曇りガラス(バックドア)	1式	21-2-(1)
	ルーフネット	2式	21-2-(3)
	ティッシュ／グローブボックス(2連)	2式	21-2-(5)
	酸素マスク収納庫	1式	21-2-(7)
	酸素ボンベ収納庫	1式	21-2-(8)
	アクリル製扉付ルーフサイド収納庫(右側)	2式	21-2-(9)
	3段収納庫(右側)	1式	21-2-(9)
	スライド式扉収納庫(右側)	1式	21-2-(9)
	タブレットホルダー	1式	21-2-(9)
	ネットシェルフ(右側)	1式	21-2-(9)
	引出収納庫及び引出内緩衝材(右側)	2式	21-2-(9)
	大型収納庫(運転席後部縦型収納庫)	1式	21-2-(11)
	全席シートベルト	1式	21-2-(13)
	ストレッチャー積載架台(防振架台)	1式	21-2-(14)
	ずれ落ち防止ガイド	1式	21-2-(14)
	ストレッチャー落下防止装置	1式	21-2-(14)
	サブストレッチャー・バックボード収納庫(65EXLスクープエクセルピン付を収納)	1式	21-2-(15)
	輸液ボトルホルダー	2式	21-2-(17)
	フック(C型4式・J型4式)	8式	21-2-(18)
	アシストグリップ(バックドアのアシストグリップは大型)	5式	21-2-(19)
	マジックベルト(5本)	1式	21-2-(19)
	患者監視装置固定装置(EMS-1052用の固定装置)	1式	21-2-(23)
	吸引器固定装置(LSU4000ウォールマウント)	1式	21-2-(28)
	自動体外式除細動器固定装置(TEC-2601)	1式	21-2-(31)
	車両除染システム BT-03	1式	21-2-(42)

2. 救急車取付品及び附属品

別表2

区分	品名	仕様・規格	数量	備考
救急車取付品及び附属品	メインストレッチャー	ファーノ:パワードエクスチェンジストレッチャーシステム4080SJ+4155Jセット	1式	21-2-(14)
		マット・ベルト・枕・ガードル架キット 付	1式	21-2-(14)
		左右プレート付のガードル架キット	1式	21-2-(14)
		レインカバーオレンジ FW1901-142	1式	21-2-(14)
	サブストレッチャー	スクープストレッチャーセット (モデル65EXLスクープエクスセル ピン付きタイプ 1枚+モデル445-SP ベッドイモビライザー1式)	1式	21-2-(15)
		スクープエクスセル用 ストラップモデル436-IP(スペア) 3本	1式	21-2-(15)
	電子サイレン	サイレンアンプ【パトライト製/大阪サイレン製】	1式	21-1-(7)
		サイレン音プッシュスイッチ取付	1式	21-1-(7)
	赤色警光灯	LED大型散光式赤色警光灯(フロント散光式警光灯にサイレンスピーカー併設) ※フロントグリル(バンパー)部に併設可能。	1式	20-1-(2)
		フロント赤色点滅灯【大阪サイレン製赤レンズ】	2式	20-1-(2)
		ルーフサイドLED散光式赤色警光灯	1式	20-1-(2)
	酸素呼吸器	加湿流量計オキシパック スリーエス OX-ⅢS セット (アンプシリコンカフマスク サイズNo.0+No.2(各1個)を含む)	1式	21-2-(6)
		減圧弁(ヨーク型)2個 ※酸素ボンベ本体は含まない	1式	21-2-(8)
	携帯式酸素吸入器一式	酸素吸入装置セット バックパック300型	1式	21-2-(25)
	人工呼吸器	メデューマッティージーCPRライトキャリングセット (アンプシリコンカフマスク サイズNo.4+No.5各1個含む)	1式	21-2-(22)
		蛇管吊りセットF	1式	21-2-(22)
	吸引器	レールダルサクションユニットLSU4000再使用型一式	1式	21-2-(28)
		LSU4000用AC電源ウォールブラケット	1式	21-2-(28)
		LSU4000用サイドポーチ	1式	21-2-(28)
	消火器	自動車用粉末ABC消火器(1.8kg以上)	1本	21-2-(44)
	電子体温計	テルモ電子体温計 C208	1式	21-2-(27)

3. 軽微な変更の取付品・附属品

別表3

区分	品名	仕様・規格	数量	備考
軽微変更	カーナビゲーション	カーナビゲーション(バックガイドシステム併用、VICS付)	1式	21-1-(3)
	タイヤチェーン	ゴム製の滑り止めネット	1式	21-2-(50)
	車輪止め	ゴム製車輪止め2個1組、1, 5mロープ付き	1式	21-2-(45)
	警告表示板(三角表示板)	法令適合品	1式	21-2-(46)
	救助資機材(レスキューキット)用バック	パール シートベルトカッター ボルトクリパー 万能斧 ガラスカッター等を収納できるバック	1式	20-5-(6)
	消防章		1式	20-1-(1)
	スタッドレスタイヤ	ホイール付(4本)	1式	21-2-(49)
	簡易担架	レスキューキャリアマット	1式	21-2-(16)
	バックボード	ハイトックバックボード2010セット (ハイトックバックボード1枚、ヘッドイモビライザー1式、モデル436-IPストラップ5本)	1式	21-2-(15)
	バックボード用品	バックボード用コーティングストラップ WCS-1-1(レッド)	5式	21-2-(15)
		ストラップ収納ケース	2式	21-2-(15)
	自動式心臓マッサージ器	日本光電RMU(予備バッテリー1本含)	1式	21-2-(24)
	救命浮輪	膨張式ライフポールS	1式	21-2-(51)
	ダストボックス		1式	21-2-(20)
	時計 室温度計(デジタル電波時計)		1式	21-2-(43)
	マギール鉗子セット	大 25cm、中20cm	1式	21-2-(29)

4. 高度救命処置用資機材

別表4

区分	品名	仕様・規格	数量	備考
高度救命処置資機材	喉頭鏡一式	オブティマスタビーハンドル	1式	21-2-(29)
		オブティマMACブレードNo.2	1式	
		オブティマMACブレードNo.3	1式	
		オブティマMACブレードNo.4	1式	
		喉頭鏡セットケース	1式	
	開口器	ハイステル開口器	1式	21-2-(29)
	ビデオ喉頭鏡一式	PENTAX エアウェイスコプ AWS-S200NK	1式	21-2-(29)
	ETCO2測定器	ポケットCO2モニタ WEC-7301	1式	21-2-(30)
		CO2センサ TG-121T	1式	
		USBケーブル(データ送信用)	1式	
	患者監視装置	デフィブリレータ EMS-1052	1式	21-2-(23)
		ACアダプター SC-101V	1式	
		リチウムイオンバッテリー SB-121V	1式	
		ウォールマウント	1式	
		電源コードW YZ-001A0	1式	
		SDメモリーカード QM-002D	1式	
		除細動レポート表示ソフトウェア	1式	
		成人用中継エアホース YN-901P	1式	
		成人用カフ(標準)YP-713T	1式	
		小児用カフ YP-711T	1式	
		フィンガープローブ TL-201T2	1式	
		小児用フィンガープローブ TL-272T	1式	
		新生児用フィンガープローブ TL-273T	1式	
		CO2センサキットTG-940P	1式	
		クリップアダプター TL-260T(プローブ含む)	2式	
		心電図誘導コード` BJ-831V K354	1式	
		電極リード線(胸部電極)60cm BR-906V K913A	1式	
		標準12誘導機能/導出18誘導機能ライセンスQL-002V	1式	
	血糖測定システム	メディセーフフィット BE1013-003	1式	21-2-(27)
		ファインタッチプロ	1式	
	血中酸素飽和度測定器	ニプロ パルスオキシメーター マイティサット	1式	21-2-(30)
		ATP-01RF(小児アジャスター含む)	1式	

5. 救急自動車・救急資機材関係

別表5

区分	品名	仕様・規格	数量	備考
救急自動車関係	ドライブレコーダー	高機能ドライブレコーダー（記録メディア32GB以上）	1式	21-1-(5)
	防刃チョッキ	耐刃防護衣NT-2H	3式	21-2-(39)
	ICレコーダー	TASCAM VR-04	2式	21-2-(53)
	デジタルカメラ	オリンパス TG-6（記録メディア4GB以上2枚）	1式	21-2-(54)
	製作承認図		1式	15-2
	AC100V電源自動切替改造		1式	19-2-(4)
	盗難防止装置	（誤発進防止装置シフトロック機構でも代替可能。）	1式	19-2-(6)
	牽引ロープ（3t用フック付）		1式	21-2-(48)
	ブースターケーブル（120A・5m）		1式	21-2-(52)
	車載設置血圧計	タイコス大型アナロイド血圧計	1式	21-2-(26)
	懐中電灯	GENTOS サルベージャーSR-320DT	3式	21-2-(32)
		AL300A LEDストロボライト&トーチ（色：オレンジ）	3式	
	エンジンスターターカット		1式	19-2-(5)
	ホワイトボード		1式	21-2-(21)
	バックアイカメラ		1式	20-3-(2)
	書類ボックス	患者室内	1式	21-2-(4)
	アクリル製扉付ルーフサイド収納庫（左側）		2式	21-2-(10)
	リモコン付きキー		4式	19-2-(8)
	タイコス大型アナロイド血圧計固定装置		1式	21-2-(26)
	吸引カテーテル保持パイプ（D110-RD47）		1式	21-2-(28)
	エアウェイ	経鼻エアウェイ（6mm、7mm）、経口エアウェイ（大、小）	1式	21-2-(29)
	電子体温計	オムロン けんおんくんMC-681	1式	21-2-(27)
	投射型非接触式体温計	パピットとサーモミニ NIR-02	1式	21-2-(27)
	簡易担架	レスキューシート モデル44（ファーンノ）	1式	21-2-(16)
	車内スピーカー	P810型	1式	23
	車両外部記入文字施行費		1式	25
	コーナセンサー		1式	20-5-(5)
	ETC	ETCユニット（ビルトインタイプ）	1式	21-1-(11)
	メッシュベスト	FSジャパン BS2（ブルー）	1式	21-2-(56)
	バックドアストラップ		1式	21-2-(57)
	感染防止用間仕切り（隔壁）		1式	21-2-(11)
	フロアマット（運転席 助手席）		1式	21-1-(10)
救急用資機材関係	尿器	こぼれ防止機能付き尿器 男性用	1式	21-2-(35)
		こぼれ防止機能付き尿器 女性用	1式	
	血圧計	HEINE ガンマG7	1式	21-2-(27)
		電子血圧計 エレマノ2 ES-H56	1式	
		手首式デジタル血圧計 HEM-6231T2-JE	1式	
	検眼ライト	ソフトLEDペンライト瞳孔ゲージ付 SM-355N ネイビー	3式	21-2-(27)
	聴診器	リットマン クラシックⅢ	3式	21-2-(27)
	救急バック	ELITE BAGS アドバンスドライブサポートバッグ 23814	1式	21-2-(33)
		ELITE BAGS エマージェンシーバッグ 23845	1式	
		EMS スタンダードウエストバック WKP3365	2式	
		オレンジ ヒップバックバッグ J-900/O	1式	
	酸素ボンベバッグ	オールマイティ・O2バッグ ES-1280-001	1式	21-2-(33)
	膿盆	ステンレス24cm	1式	21-2-(34)
		ステンレス30cm	1式	

万能はさみ	セイフティカッター	3式	21-2-(36)
分娩セット	OBリネンセットⅡ	1式	21-2-(37)
リングカッター	リングカッターKIND OS-Ⅰ型(替刃2枚)	1式	21-2-(38)
止血帯	IMG ノンラテックス エスマルヒ氏止血帯 10cm	1式	21-2-(27)
	RMT止血帯ブラウン	1式	
手動式人工呼吸器	アンプマークⅣ 成人用単体	1式	21-2-(25)
	アンプ酸素リザーバーバッグ	1式	
	アンプマークⅣ ベビー用単体	1式	
	アンプ酸素リザーバー新生児用(蛇管タイプ)	1式	
	アンプシリコンカフマスク サイズ№.5	1式	
	ガスサプライバルブ(ファーノ)	1式	
	接続アダプタ アンプマークⅣ用 FW-2201-002	2式	
救急現場用シールド	クイックシールド・ネオ	1式	21-2-(55)
自動体外式除細動器	TEC-2601	1式	21-2-(31)
	リチウムイオンバッテリー SB-220V	2式	
	バッテリーチャージャー	1式	
	電源コードW YZ-001A0	1式	
	SDメモリーカード QM-002D	2式	
	ウォールマウント	1式	
	テストロード	1式	

※別表1から別表5に記載の全ての物品にあっては、同等品を認めるものとする。

所属	所在地	電話番号
奈良県広域消防組合 消防本部	奈良県橿原市慈明寺町149番地の3	0744-26-0119